

2001年2月1日

第1回 淀川水系流域委員会 審議骨子

委員長 芦田和男

1. 委員長・部会長の選出

委員の互選により、流域委員会委員長は芦田和男（財団法人 河川環境管理財団 研究顧問）、琵琶湖部会長は川那部浩哉（滋賀県立琵琶湖博物館 館長）、淀川部会長は寺田武彦（弁護士）、猪名川部会長は米山俊直（大手前大学 学長）に決定した。

2. 委員会の情報公開について

- ・ 委員会や部会、そこでの会議内容は様々な手段を通じて、可能な限り早期に公開するものとし、NGOやNPOへの情報提供も積極的に行う。
- ・ 会議開催直後には審議骨子を取りまとめ、記者発表を委員長が中心となって行う。
- ・ 懇談会の開催など、住民からの意見聴取方法についても十分検討を行う。

3. 淀川水系流域委員会の庶務業務について

- ・ 委員会および部会運営の庶務業務は、(株)三菱総合研究所が行う。運営方法については当面は準備会議の方法を踏襲する。

4. 淀川水系流域委員会の今後の進め方について

- ・ 本日の部会発足会に引き続き、委員会と三部会の合同懇談会を開催する。
- ・ 次回委員会は、3月中に開催を目標とする。

以上